

2024年12月期 第2四半期決算説明会資料

東証スタンダード（証券コード：2932）



IRメール配信登録
<https://www.magicalir.net/2932/mail/index.php>

◆ 2024.8.8

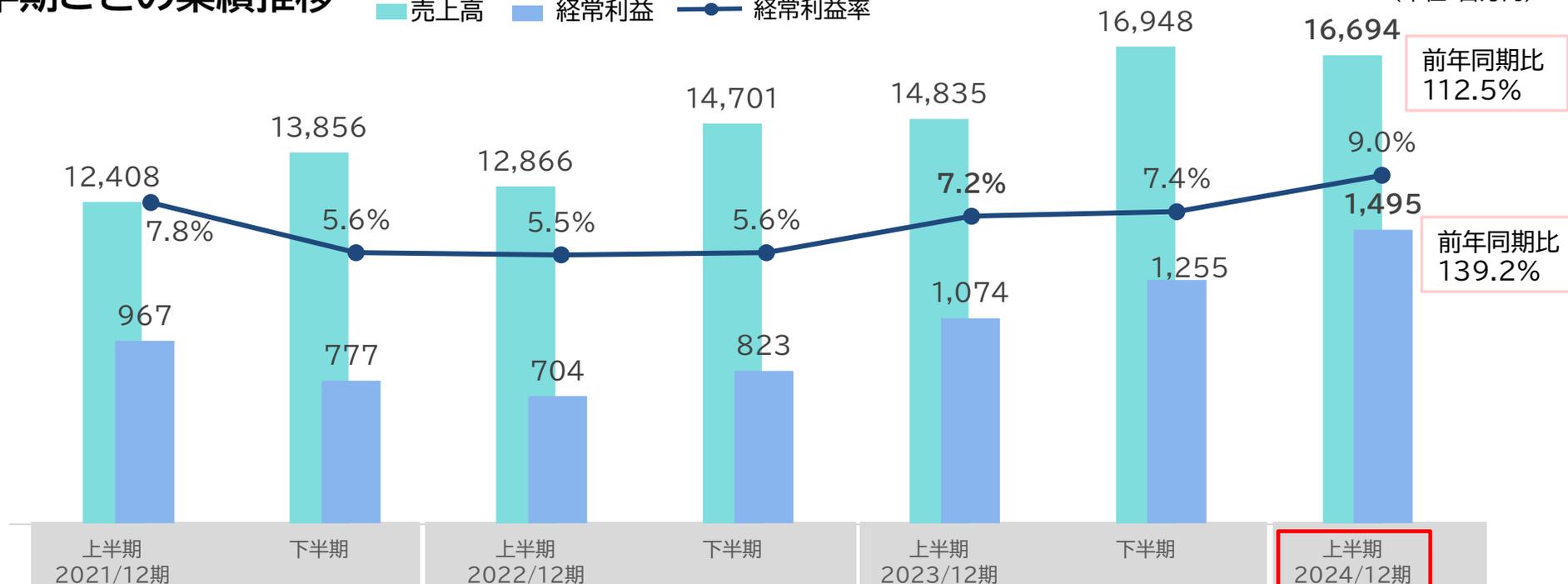
2024年12月期第2四半期 決算概要

連結業績サマリー

	売上高	経常利益	経常利益率
2024/12期 上半期 (2024.01~06)	166.9億円	14.9億円	9.0%
2023/12期 上半期 (2023.01~06)	148.3億円	10.7億円	7.2%
2022/12期 上半期 (2022.01~06)	128.6億円	7.0億円	5.5%

半期ごとの業績推移

■ 売上高
 ■ 経常利益
 ● 経常利益率
 (単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:百万円)

	2023/12期 上半期 (2023.01~06)		2024/12期 上半期 (2024.01~06)		前期比	増減額
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	14,835	-	16,694	-	112.5%	1,859
売上原価	10,683	72.0%	11,810	70.7%	110.6%	1,127
売上総利益	4,152	28.0%	4,884	29.3%	117.6%	732
販売費及び 一般管理費	3,116	21.0%	3,392	20.3%	108.8%	275
営業利益	1,035	7.0%	1,491	8.9%	144.1%	456
経常利益	1,074	7.2%	1,495	9.0%	139.2%	420
親会社株主に帰属 する中間純利益	687	4.6%	1,010	6.1%	146.9%	322
E P S (円)	113.01	-	165.99	-	146.9%	

連結貸借対照表

(単位:百万円)

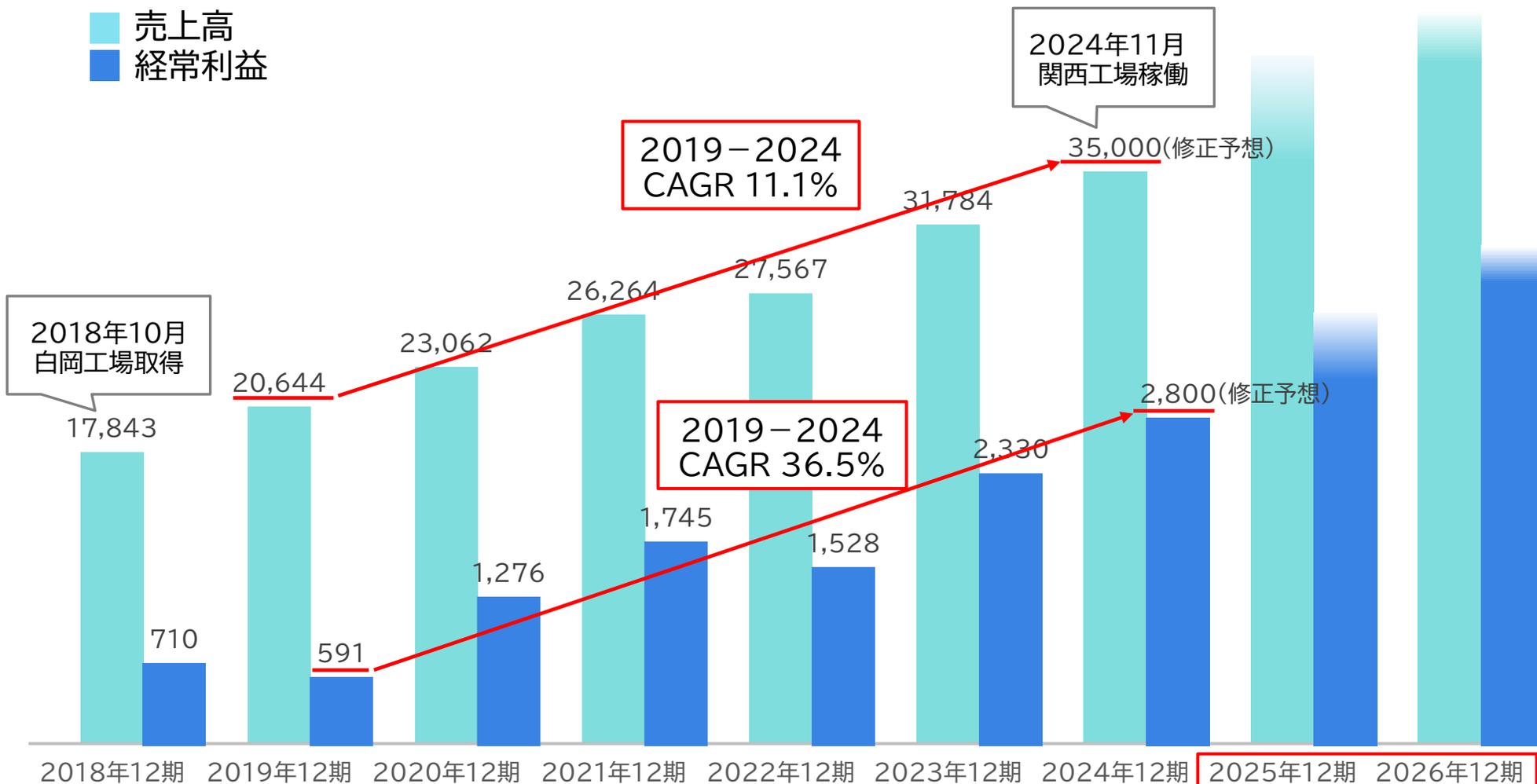
	2023/12 期末	2024/12 上半期末	増減比	増減額
流動資産	10,294	11,239	109.2%	944
うち現金及び預金	4,046	4,334	107.1%	288
固定資産	4,807	5,257	109.4%	449
うち有形固定資産	4,223	4,689	111.0%	465
資産合計	15,102	16,496	109.2%	1,394
負債合計	7,655	8,549	111.7%	894
流動負債	6,161	6,447	104.7%	286
固定負債	1,494	2,101	140.7%	607
純資産合計	7,446	7,946	106.7%	500
負債・純資産合計	15,102	16,496	109.2%	1,394

自己資本比率:2023/12期末 49.3% 2024/12期上半期末 48.2%

これまでの業績推移と今後の成長イメージ

- 2019年以降の売上高CAGR ※は11.1%、経常利益CAGRは36.5%となる予想、今後も同様の成長を継続 ※CAGR=Compound Annual Growth Rate/年平均成長率

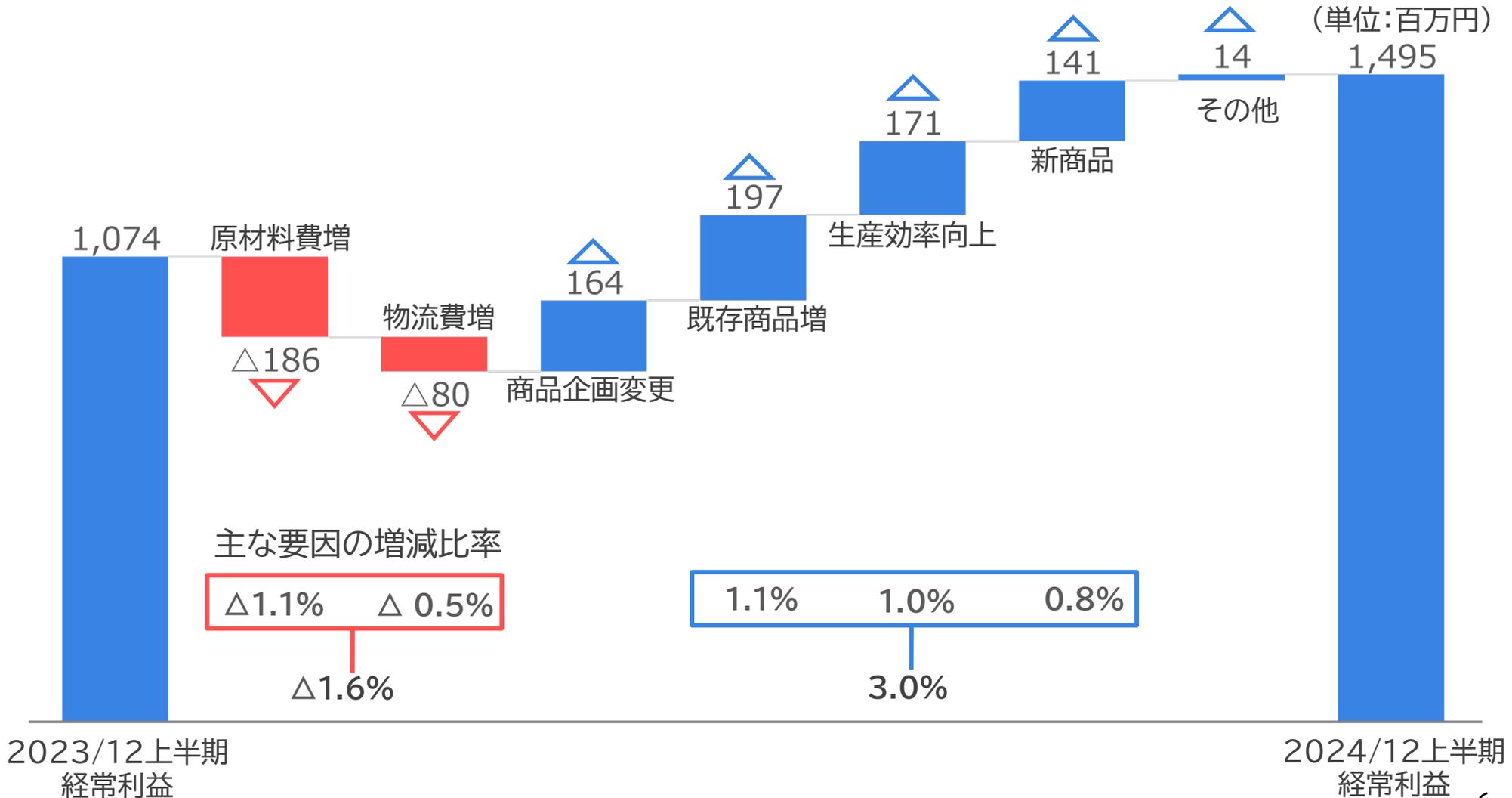
(単位:百万円)



成長イメージ

経常利益増減分析

- 消費者に支持される最高の商品を提供するため、高品質な原材料の使用を継続
- 工場間シナジーなどの生産効率の向上、販売数量の増加によりマイナス要因吸収



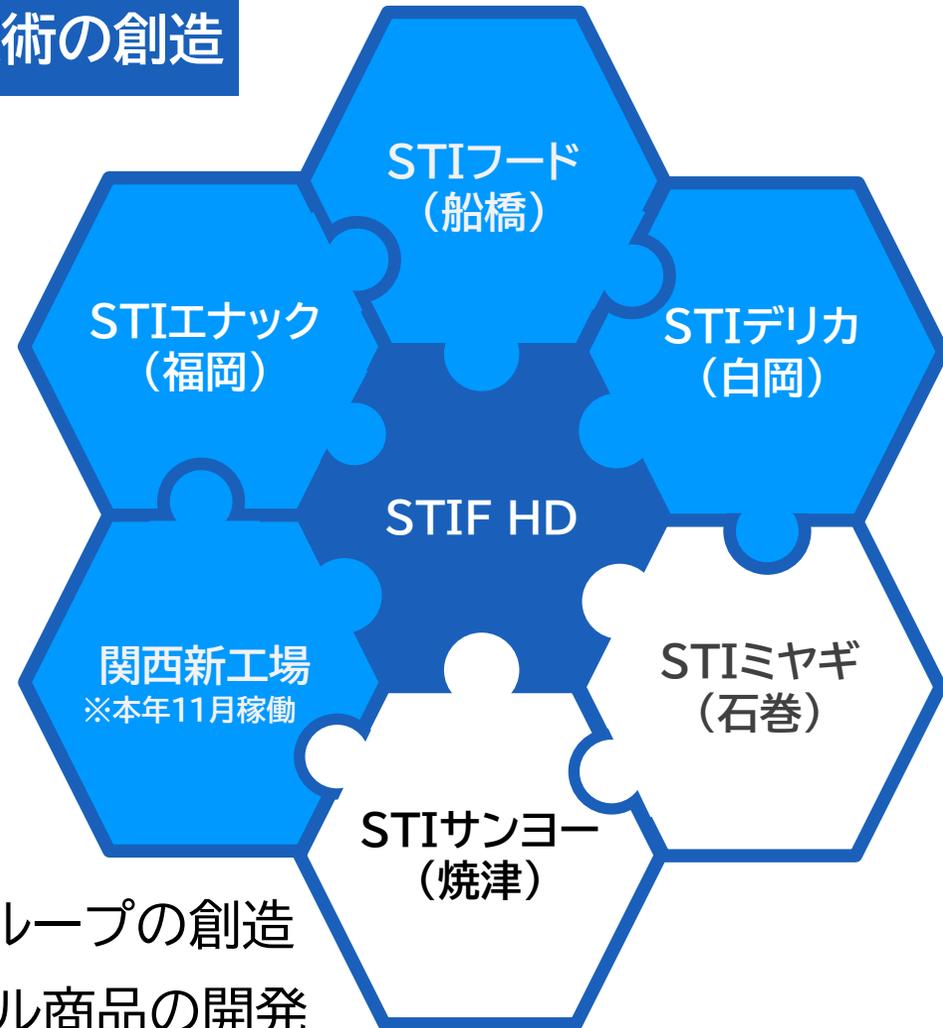
重点施策と重点方針

グループシナジーによる生産工程・生産技術の創造

おいしさと経済合理性の両立

- 原材料の品質に妥協しない
(スペックダウンなし)
- 複数拠点による製造最適化
生産商品の選択と集中
- グループ各社の技術のクロスオーバー
による付加価値の創出

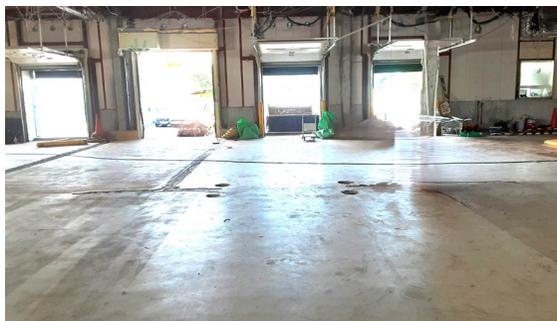
- 
- クロスオーバー技術による新しい商品グループの創造
 - 国内売れ筋商品をベースにしたグローバル商品の開発



■ 関西新工場の準備は2024年11月稼働に向けて順調に進行中(実写)



↓ 改修工事進行中



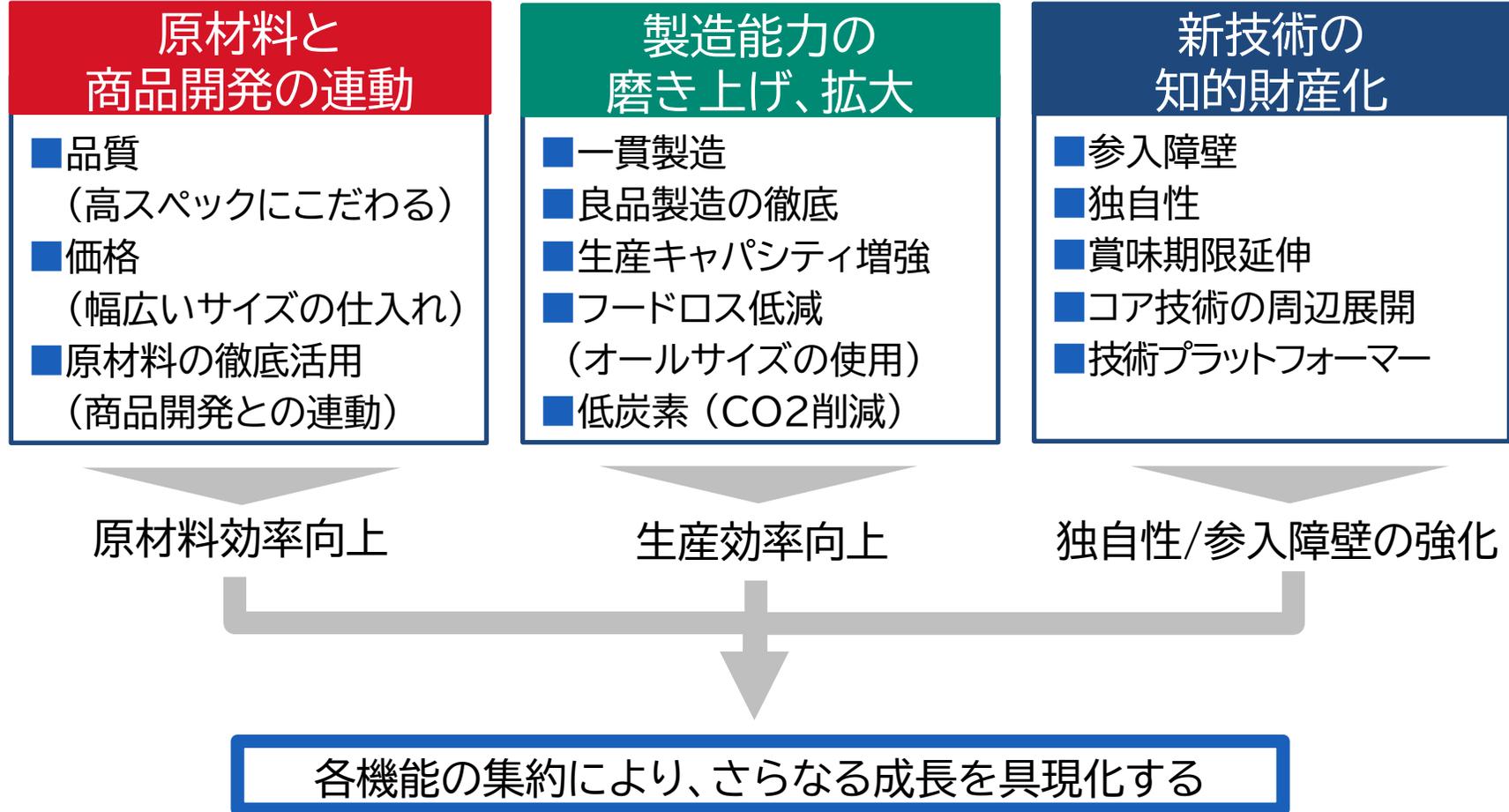
重点施策



※関西新工場完成予想図

重点方針(継続)

- 原材料、開発、製造、知的財産に関する各機能が事業への貢献を追求することで、より強い企業集団を作り上げる



- 国内売れ筋商品をベースにしたグローバル商品の開発

業績予想の修正

2024年12月期 通期業績予想の修正

- 上半期までの業績が予想を上回って進捗、
下半期も売上、利益ともに順調な成長が見込めることから業績予想を修正する

	2024/12期当初予想		2024/12期修正予想		修正比
	業績予想	売上比	業績予想	売上比	
売上高	34,000	-	35,000	-	102.9%
営業利益	2,400	7.1%	2,800	8.0%	116.7%
経常利益	2,400	7.1%	2,800	8.0%	116.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,600	4.7%	1,800	5.1%	112.5%
E P S (円)	269.98	-	303.74	-	112.5%

株主還元方針

株主還元方針

- 2024年12月期は中間配当を40円と決定、期末配当予想は50円 → 70円に修正し、1株当たり年間配当は90円 → 110円に増額

【配当金】	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期予想
1株当たり年間配当金	55円	90円 (普通配当70円) (記念配当20円)	110円 (中間配当40円) (期末配当70円)

- 中間配当の開始に伴い、株主優待を期末のみの年1回に変更

【株主優待制度】

毎年12月末日の年1回、1单元(100株)以上所有の株主様に株主様限定の当社製品を贈呈

※12月末現在の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主様のうち、継続して1年以上保有する方を対象といたします。



質疑応答

会場ご出席の方

挙手にてお知らせください

Zoomご参加の方

音声質問の場合



Zoom画面下の「手を挙げる」をクリックしてください

※質問を取りやめる場合は「手を降ろす」でキャンセルできます

事務局より指名させていただきます

指名された方の「トークを許可」させていただきますので、
質問内容をお話してください

テキスト質問の場合



Zoom画面下の「Q&A」をクリックしてください

「お会社名」「お名前」「ご質問内容」を質問入力欄にご入力し、
送信をクリックしてください

APPENDIX

会社概要 / 事業内容

会社概要

社名	株式会社STIフードホールディングス	設立	2017年11月(創業1988年12月)
本社	東京都港区南青山一丁目15番14号	従業員数	269名(他、臨時雇用者 949名) ※2023年12月末日現在、臨時雇用者は1日8時間換算の従業員
代表者	代表取締役社長 十見 裕	上場日	2020年9月25日(東証スタンダード)

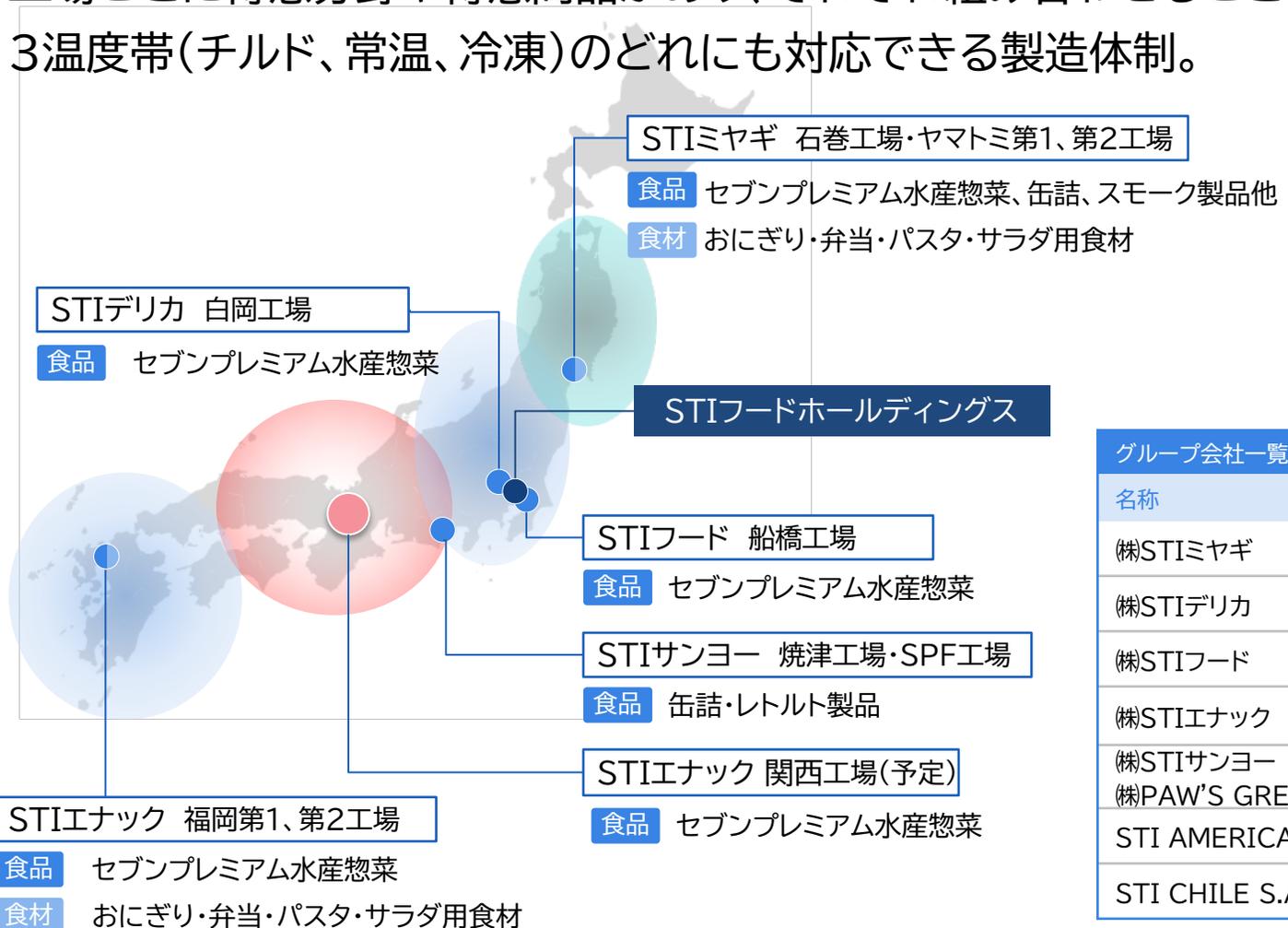
事業内容

当社グループでは、水産原料の素材の調達から製造・販売までを一貫して行う食品製造販売事業を展開

製品分類	主な事業内容	会社	製造製品例
食品	主にコンビニエンスストア向け水産惣菜の製造・販売、水産原材料を使った缶詰・レトルト製品等の製造・販売	当社 STIフード STIデリカ STIエナック STIミヤギ STIサンヨー STI AMERICA Inc. STI CHILE S.A.	     
食材	主にコンビニエンスストア向けおにぎり・弁当・パスタ・サラダ等に使用される水産食材を食材商社等を通じてデイリー惣菜メーカー向けに製造・販売	当社 STIエナック STIミヤギ STI AMERICA Inc. STI CHILE S.A.	   

グループ及び生産拠点

- STIフードホールディングス、連結子会社6社、孫会社1社、非連結子会社1社により構成。
- 工場ごとに得意分野や得意商品があり、それぞれ組み合わせることで3温度帯(チルド、常温、冷凍)のどれにも対応できる製造体制。



海外拠点



グループ会社一覧	
名称	所在地
(株)STIミヤギ	(生産工場) 宮城県石巻市
(株)STIデリカ	(生産工場) 埼玉県白岡市
(株)STIフード	(生産工場) 千葉県船橋市
(株)STIエナック	(生産工場) 福岡県糸島市 (生産工場) 大阪府泉佐野市
(株)STIサンヨー (株)PAW'S GREEN	(生産工場) 静岡県焼津市
STI AMERICA Inc.	(本社) アメリカ ワシントン州
STI CHILE S.A.*	(本社) チリ ロス・ラゴス州

※:非連結子会社

新しい製法を研究し、**参入障壁の高い技術をもって**、世の中になくユニークな水産食品を開発

製法・技術へのチャレンジを加速

■ 賞味期限をさらに延長する**新技術**を開発中

ホットパック技術

紅鮭フレーク(特許取得済み)・熟成炙りたらこ(特許出願中)

- 一般家庭で魚を焼成し、手ほぐして得られる手作りの魚肉フレークとほぼ変わらぬ食感、外観形状の鮭フレーク
- オーブントースターやグリル、フライパンで焼成して得られる焼きたらこと変わらぬ食感、旨味、風味の炙りたらこ
- この技術により全国各地へ食材を供給

生鮮イクラの静菌技術

味付けイクラ

- サーモン卵本来の美味しさを引き出すことを実現
- コンビニ向けおにぎり用味付けイクラのパイオニア

2021年4月

tsuji

食のプロを育てる 辻調グループ
(辻調理師学校)との商品開発の深化

- ・ 新商品の開発・発売
- ・ 健康志向の惣菜商品開発などにより商品群の拡大にも注力

カップサラダ・ガス置換技術

カップサラダ

- 魚介と野菜を使い、セブン-イレブンの人気商品に
- ガス置換パックにより、鮮度を維持
- 2021年4月/たことブロッコリーバジルサラダリニューアル(タンパク質を意識したサラダの投入)

2020年11月

2018年1月

三段階焼成・ガス置換パック技術

焼魚惣菜

- 家庭の焼きたての美味しさを封じ込めたセブン-イレブンの定番商品に
- 保存料を使用せずに、約10日間に消費期限の延長を実現(約3日間⇒約10日間)

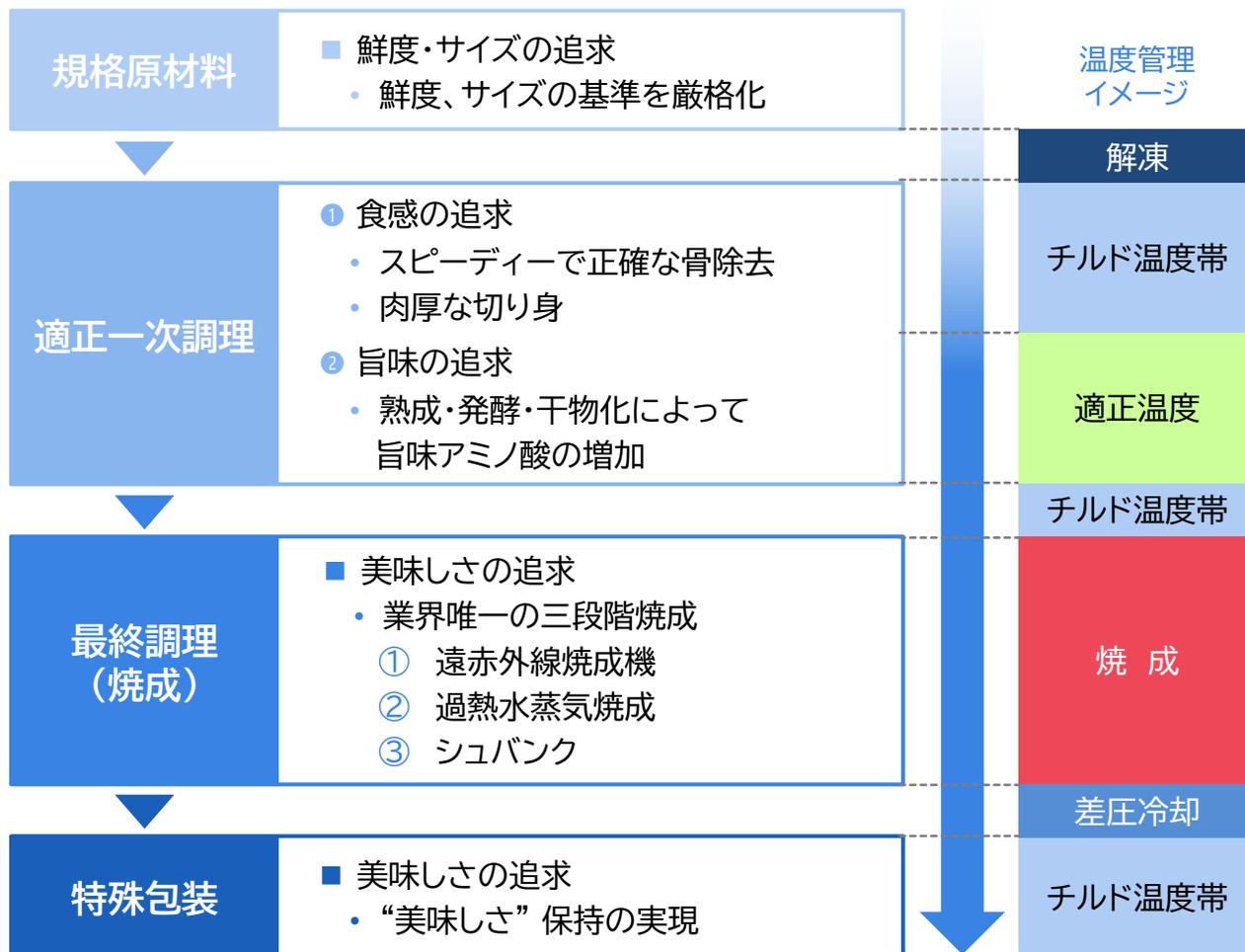
2014年5月

1997年8月

事業の強み ～一貫生産による「味」の品質向上～

- 一貫生産(調理)の工程において徹底した温度管理と解凍回数の減少により、「味」の品質向上を追求する

焼魚惣菜の製造工程



遠赤外線焼成機



過熱水蒸気焼成

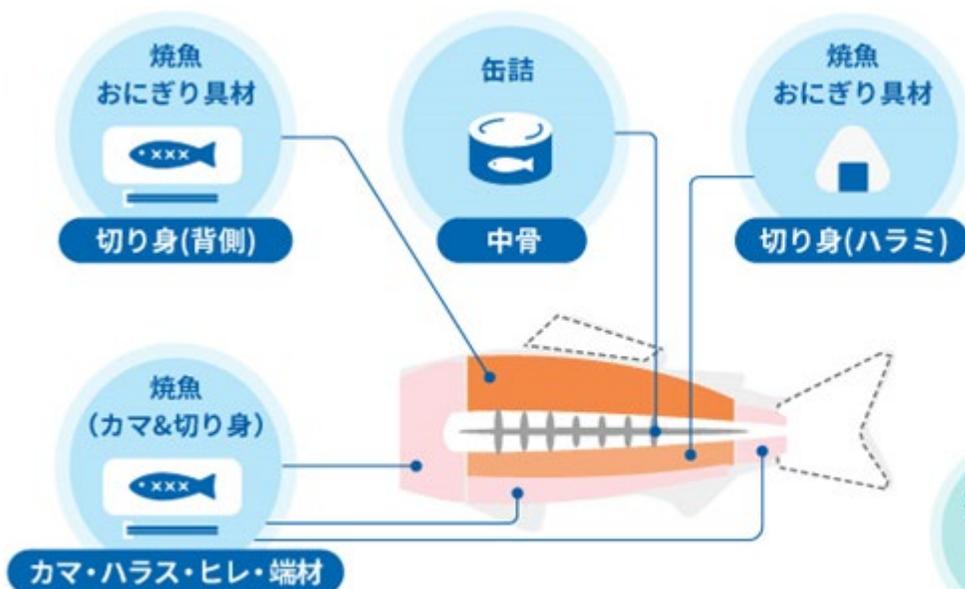
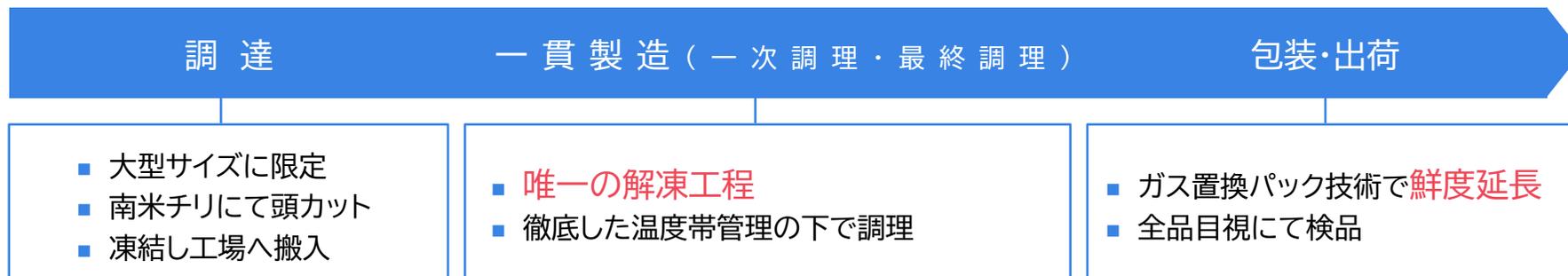


シュバンク(赤外線バーナー)

事業の強み ~フードロスとコスト削減の両立~

- 素材を使い切る製品ポートフォリオによる**徹底したフードロス対応**で原材料コストを低減。

美味しさと原材料コストの低減を両立させる一貫生産体制



フードロス低減を実現する秀でた製品ポートフォリオ



SDGsへの取り組み



調達・加工・流通・消費・廃棄までのすべてのバリューチェーンにおいて
環境や社会への負荷を軽減し、事業を通じて社会課題解決への取り組み

社会課題	取り組み内容	ターゲット
海の恵みを届ける責任	持続可能な原材料の調達 陸上養殖事業への出資	  
食品メーカーとしての使命	フードロス・食品廃棄物の削減	  
地球にやさしい事業活動	温室効果ガスの排出削減	   
被災地域の復興支援	地域水産業の持続的成長支援	   
人権尊重	グループ人権方針の策定	  

東日本大震災で大きな被害にあった宮城県石巻の地元高校生と協力して復興を支援

2022-23年 プロジェクト

後継者不足が深刻な問題となっている水産業において、後継者育成など様々なチャレンジを進めている宮城水産高等学校と、石巻の魅力が食品を通し発信しているSTIミヤギが2022年5月より地元石巻を盛り上げるためプロジェクトを開始。

1年の準備期間を経て、原料の金華さばから水、塩、みそといった調味料、缶までを県産品にこだわった「オール宮城」をテーマに「金華さば缶」を共同開発し、2023年2月より東北地域で販売しました。



2023-24年 プロジェクト

水産高校の缶詰製造設備が故障したことで校内実習が困難になったことから、STIミヤギの工場設備を一部を貸し出しました。生徒の皆様には本格的な設備で「さんま味付缶詰」を製造していただきました。



STIフードホールディングスグループは「国際人権章典(国連)」および「労働における基本的原則及び権利に関する宣言(ILO)」を最低限遵守されるべき原則・基準と理解し、支持します。

私たちは、これらの原則・基準に基づく「ビジネスと人権に関する国連指導原則」および「『ビジネスと人権』に関する行動計画(2020-2025)」(日本政府)に則り事業活動を行います。

グループ人権方針

STIフードホールディングスグループ(以下、私たち)は、お客様、お取引先、株主、地域社会、社員などあらゆるステークホルダーの皆様に支えられ、国内外の食料資源を通じて社会のより豊かな未来のために事業活動を行っております。

私たちのあらゆる事業活動の礎は人と社会にあります。

私たちはすべての人の人権を理解し、人権尊重の責任を果たすため、ここに「STIフードホールディングスグループ人権方針」を定めます。この方針は、STIフードホールディングスグループすべての事業活動の基盤であり、私たちの社是である「正々堂々」を体現するものです。

また、私たちは本方針の実践を通じて、ステークホルダーの皆様と協働し、人権が尊重される持続可能な社会を共創します。

※詳細は当社コーポレートサイトに掲載しております

<https://www.stifoods-hd.com/ja/news.html>



【ご注意事項】

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、マクロ環境や業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。



STI Foods Holdings, Inc.